

急性期呼吸器疾患患者における呼吸リハビリテーションが身体機能および日常生活動作に及ぼすの影響についての研究

研究説明書

1. 研究の目的

呼吸リハビリテーションは主に慢性閉塞性肺疾患（以下 COPD）をはじめとする呼吸器疾患患者様にとって生活の質、運動能力の大幅な改善に関連していると報告されています。さらに、リハビリテーションにて運動を実施することで 1 日の歩数の増加、体力の改善、呼吸困難感の改善がされると言われています。しかし、これらの報告は入院にしている呼吸器疾患患者様を対象に研究されているため、入院中の呼吸器疾患患者様を対象とした報告は少ないのが現状です。そこで過去に当院入院中の患者様に対して実施された呼吸リハビリテーションにおいて、リハビリ開始時から退院前日の身体機能・体組成・運動耐容能・安静時エネルギー消費量の変化について調査させていただきます。

2. 研究対象

・当院に入院された呼吸器疾患患者様 100 例

（平成 28 年 1 月 1 日以降に当院リハビリテーション室にてリハビリテーションを実施された方）

3. 研究方法

平成 28 年 1 月より当院にてリハビリテーションを実施した入院患者様のリハビリ開始時から退院前日の身体機能・体組成・運動耐容能・安静時エネルギー消費量の変化について調査させていただきます。

（1）取り扱う検査結果

- 1) 身体機能：6 分間歩行距離¹⁾、膝伸展筋力²⁾、握力
- 2) 運動耐容能：6 分間歩行距離、修正 Borg scale³⁾、脈拍数
- 3) 体組成⁴⁾：筋肉量、四肢筋肉量、除脂肪体重 筋輝度
- 4) 安静時エネルギー消費の変化⁵⁾
- 5) 身体活動性⁶⁾：歩数、メッツ、身体活動の強度

注 1) 6 分間歩行距離：

往復 60 m の歩行路を可能な限り早足で 6 分間歩いていただきます。休憩を何回とっていただいてもかまいません。疲れや息切れを感じた際には途中で終了していただけます。

2) 膝伸展筋力

床から 50 cm 程度の高さに座っていただき、膝関節を 90 度に曲げた状態にて固定します。その状態から膝をまっすぐに伸ばすように力んでいただいて、その時の力を測定させていただきます。

3) 修正 Borg scale：

運動前と運動後の息切れの強さを 0（感じない）～10（非常に強い）までの間の数字を用いて、患者様に聴取させていただきます。

4) 体組成：

In BodyS10 を用いて両側の親指、足くびに電極を取り付けます。測定中は微量の電気が流れますが、痛みや刺激を感じることはありません。この測定を行うことで、筋肉量、四肢筋肉量、除脂肪体重、体脂肪等の体組成を測定することができます

また、超音波検査を実施することで筋肉の太さや密度を測定することができます

5) 安静時エネルギー消費：

食後 4 時間以上経過後に呼気ガス分析装置を用いて安静時の呼吸に含まれる酸素摂取量 (VO₂) と二酸化炭素出量 (VCO₂) の値を測定します。測定にはおよそ 20 分間を要します。測定されたデータから Weir の式を用いて安静時エネルギー消費量を算出する。

6) 身体活動性：

身体活動計 (万歩計の様な小型の装置) を装着することで、歩数や身体活動の強度が測定できます

(2) 検査時期：リハビリ介入日と退院時に検査を行います。なお、通常の訓練時間に行いますので、特別に患者様に時間をいただくことはありません。

(3) 検査場所：松阪市民病院リハビリテーション室

4. 本研究の意義

本研究の結果により、急性期呼吸リハビリテーションの効果を明らかにし、分析することで、質の高いリハビリテーションの提供が可能となる。また、これらの研究は少なく、臨床的、学術的にも有意義な情報を提供できると思われる。

5. 患者様への同意とプライバシーの保護について

(1) 研究に対する同意について

本研究は、リハビリテーション実施中の記録を後日活用させていただく研究であるため、研究の同意を患者様から直接いただくことはありません。そのため、患者様の同意について、以下のようにさせていただきます。

①リハビリテーション室に「当院における個人情報の利用目的」のポスターを掲示する

②松阪市民病院ホームページ内の、「治験・臨床研究」に研究説明文書を掲載する。

なお、同意していただけない場合は、下記までご連絡下さい。また、同意していただけない場合においても患者様ご自身に不利益をもたらすことは何ともありません。

(2) 個人情報の保護について

全ての患者様のプライバシーに関する秘密は注意深く保持されます。また、記録は、松阪市民病院リハビリテーション室において半永久的に責任を持って保存致します。患者様

の自由意志に基づき、その可否を判断していただくことが可能です。この研究についてわからない点や不安な点があればいつでも担当者にご質問下さい。

研究責任者：武村 裕之（松阪市民病院リハビリテーション室）
松阪市民病院リハビリテーション室
〒515-8544 三重県松阪市殿町 1550
電話 0598-23-1515（代表）